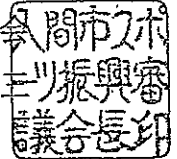


平成21年3月26日

入間市教育委員会 様

入間市スポーツ振興審議会
会長 石原 照



今後の中央公園体育施設のあり方について (答申)

平成19年6月28日付け入体発第186号で入間市教育委員会から諮問された「今後の中央公園体育施設のあり方について」を、別紙のとおり答申いたします。



答 申 書

入間市スポーツ振興審議会

今後の中央公園体育施設のあり方について

1 はじめに

中央公園は、財務省関東財務局から占用許可を受け都市公園として昭和41年に設置された。公園内には、有料公園施設として開設当初より4面のテニスコート、競技用50mプールと児童用プール、野球場などの運動施設を設置し、40年が経過した。

その間、樹木に囲まれたクレーのテニスコートには、夜間照明も設置され、多くの市民が利用し、大会も行われている。

プールは、開催期間が真夏の概ね50数日間であるが、涼をもとめて多くの市民が利用し、市民水泳大会も開催された。

野球場は、少年野球連盟・野球連盟・中学校体育連盟などの大会や高円宮杯争奪軟式野球大会の県予選大会などが開催されてきた。

野球場、プール、テニスコートともに、現在も多くの市民に親しまれている。

しかし、年数の経過とともに各施設も、損耗・劣化などによる小規模修繕を重ねながら、利用しているのが現状である。

近年、社会状況や市の財政状況等をみると「新たな施設の設置」から「既存施設の維持管理」への転換期を迎え、経年による施設の劣化、老朽化への対応が求められている。このことから、中長期的な観点からの施設に対する維持管理、修繕に関する計画を早急に策定することが必要である。

こうした中、市民のスポーツに親しむ機会や場所の提供とスポーツ振興を進める上においては、安全で安心して利用できる施設でなくてはならない。そのため、中央公園体育施設の諸問題を広く視野に入れ、中央公園体育施設について、平成19・20年度の2年間、全8回にわたり審議を行った結果、次のとおり答申する。

2 諮問内容について

中央公園体育施設を安全で安心して利用していただくため、平成19年6月28日に「今後の中央公園体育施設のあり方について」教育委員会から諮問された。

中央公園の体育施設の現状について

①テニスコート【昭和41年3月竣工】

□面積 3,185㎡

クレーコート 4面 照明施設を設備

□主な改修内容

昭和62年度 コート表層取替え改修工事

昭和63年度 照明施設の設置(6基)

□最近の利用件数及び年間収入

平成17年度 2,401件 1,204,200円

平成18年度 2,223件 1,101,675円

平成19年度 2,015件 1,048,200円

□問題点

- ・冬場12月から翌年3月までの間使用ができない。
- ・4面のコートでは大きな大会の開催は困難である。
- ・コートの位置が公園の奥にあり、樹木が生い茂っていて環境が悪い。

②プール【昭和41年6月竣工】

□面積 9,571㎡

競技用：50m7コース775㎡ ・児童用：120㎡

□主な改修内容

平成 3年度 プールサイドノンスリップ塗装

平成 7年度 漏水調査及び排水弁取替え

平成 8年度 管理棟塗装工事、プールサイド亀裂箇所修繕、休憩
所塗装、児童用プール内装

平成 9年度 プールサイド亀裂箇所修繕

平成10年度 漏水個所の修繕

平成19年度 プール塗装工事

□最近の利用人数及び年間収入

平成17年度 6,989人 1,336,700円

平成18年度 5,539人 1,047,200円

平成19年度 6,706人 1,337,700円

□問題点

- ・競泳用のプールのため面白みが無い。
- ・現在遊びが中心のプールとなってしまう体力づくりや競技スポーツとして泳ぐことができない。
- ・近辺に50mの競泳用プールが少ないので貴重なプールである。
- ・利用期間が7月・8月だけではもったいない。何か利用できないか。
- ・利用時間が短すぎる。
- ・塗装工事などの一部改修はしているがマイナーチェンジでしか無く泳ぎたいプールというイメージが無い。

③野球場1面【昭和43年10月竣工】

□面積 約15,000㎡ 両翼 約90m

□主な改修内容

昭和60年度 バックネット裏本部席設置

昭和61年度 スコアボード建替え・ランプ表示板設置

平成 5年度 外野フェンスに防護マットの取付け

平成 8年度 スコアボード及びダッグアウトの塗装

平成18年度 スコアボードの塗装

□最近の利用件数及び年間収入

平成17年度	193件	119,750円
平成18年度	181件	104,925円
平成19年度	186件	105,400円

□問題点

- ・バックネット裏での観戦ができない。
- ・現状だと球場が狭いので軟式野球でも公式戦の開催は無理である。
- ・現施設で硬式野球にも使用しているが非常に危険な状況である。
- ・三塁側に防球ネットが無く危ない状況である。
- ・グラウンド状況を含め、その他の施設、設備などの全てが損傷、損耗、劣化などで非常に危険な状況にある。
- ・駐車場などにボールが飛んでくる状況にあり、管理面から非常に危険である。

④その他の中央公園の問題点

- ・運動施設というイメージが強く、公園に遊びに行こうと言う感覚は無い。
- ・朝、夕など犬の散歩の場所となり、鎖を解放して遊ばせている人もいる。
- ・夏季のプールを開設している時は、駐車場が不足する。
- ・道路から奥にあるので死角になり、いたずらが絶えない。
- ・トイレ、遊具などの設備が老朽化している。
- ・樹木が大きいため公園内が薄暗くなり、防犯上の問題がある。
- ・公園を使用する人以外の迷惑駐車がある。

3 答申について

諮問を受けた「今後の中央公園体育施設のあり方について」について、次のとおり答申する。

この公園は、昭和41年に開設され、運動施設もテニスコート、プール、野

球場の順に設置され、40年が経過する。今日まで、小規模の修繕を重ねてきたが、損耗、劣化などによる老朽化が非常に進んでいる。そのため小規模な修繕や改修では環境整備は難しいと考える。現状では、大きな事故は起きていないが、いつ事故が発生してもおかしくない状況であることを、認識する必要がある。

このことは、運動施設だけでなく公園全体でも考える必要がある。①遊具も老朽化し危険である。②樹木が多いため薄暗く、そして枯れ枝も多く危険な場所がある。③トイレも汚い状況である。等があげられる。

公園と運動施設が共存する中央公園である。散歩をしたくなるような雰囲気が漂う公園、さわやかな汗を流すスポーツで、年齢や体力に応じた運動ができる施設として、生まれ変わることが必要である。野球場で試合をした若者、テニスを楽しんだ人達が公園内の木陰のベンチで休み、語らいを楽しんでいる。このような環境づくりの方向性を願う。

施設は、市民に利用されてこそ価値のあるものとなる。今後、部分的な手直しを行うことより、安全、安心を確保するため、思い切った計画を策定し、大規模な改修を行う必要がある。

以下、各施設の改修について明記する。

(1) テニスコート

テニスコートは、クレーコート4面で照明を備えた施設であり、夜間利用者も多いが、クレーコートのため霜の降りる12月から翌年3月の期間は利用ができない。緑がありすばらしい環境で、夜間照明もありながら、年間を通して利用できないのは、非常に使用効率の悪い施設である。

今後、年間を通して利用可能なオムニコート（砂入り人工芝）へ、改修工事を実施すべきである。

(2) プール

プールは、50メートル7コースのプールと児童プールがある。ふじみ野市のプール事故以来、衛生面も含めた安全確保を基本に施設改修を行ってきた。

市営プールは、運動公園と中央公園の2か所にある。両プールとも7月と8月の2カ月間のみでの開設で、他の期間は閉鎖をしている。屋外施設なので、やむを得ない状況だが、大変効率の悪い施設である。

ここ数年は、大規模改修工事は必要はないと思われるが、今後、大規模改修工事は必要が生じた場合は、運動公園プールも含め、存廃を視野に入れた検討が必要である。

(3) 野球場

野球場は、中央公園体育施設の中で、最も安全性を確保しなければならない施設であり、フィールド、バックネット、外野フェンス、防球ネット、スコアボード、ダッグアウト、観客席については、老朽化が進んでいる。特に、ファウルボール対策を講じる必要がある。

また、公式の野球場にする必要はなく、多くの市民が利用できる軟式野球を中心とした野球場とし、安全確保を第一に大規模改修工事を早急を実施すべきである。

(4) 体育施設以外の公園施設の環境整備

中央公園施設は、春には新緑や大きな桜の木に沢山の花が咲き乱れ、夏は大きな樹木が木陰をつくり、大変涼しく、秋は落ち葉を踏む足音が気持ち良く、冬は松の木の雪景色もあり、訪れる人たちに四季折々の姿を見せてくれている。

このようなすばらしい公園ではあるが、薄暗く防犯上の問題があること、

トイレや遊具が老朽化していることなど環境が非常に悪く大変残念でならない。

そこで、衛生的な水洗トイレの設置、劣化している遊具・ベンチなどの改修、樹木の伐採、駐車場の整備などの施設改修を早急に行うことを強く望む。

4 おわりに

入間市中央公園は有料の体育施設を備えた公園として、開設以来40年が経過し、経年劣化による老朽化が進んでいることは多くの市民が注目しているところである。

平成15年に策定した入間市スポーツ振興計画で位置づけている運動施設については、将来の施設整備構想として「既存施設の有効利用と効率的な運営を図り、老朽化した施設を積極的に改修し、利用者サービスの向上に努め、利用者の立場に立った魅力ある施設を計画的に整備する。」とあり、市民の誰もが生涯を通して、体力や目的に応じたスポーツを、いつでも、どこでも、気軽に楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指すことを目的としている。

また、第5次入間市総合振興計画では、「体育施設の整備については、特に子ども達が野球やサッカーなどのスポーツを楽しめる施設整備を重点に黒須市民運動場の有効利用や中央公園などの既存施設の改修を計画的に実施します。」とある。市の限られた財源の中、最大限の安全確保と市民サービスに努めることを切に希望し、結びとする。